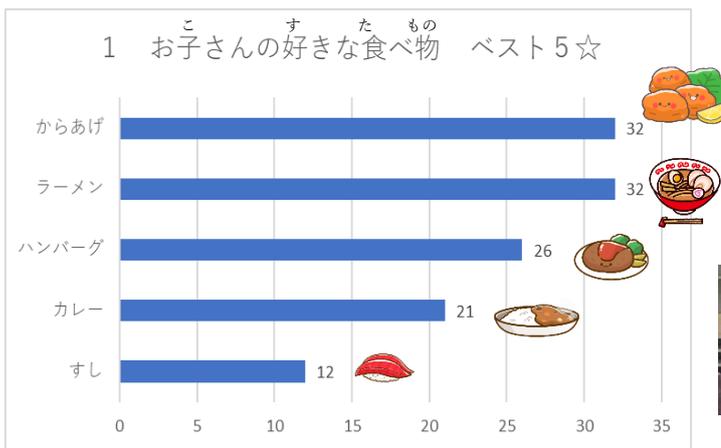


R6 学校保健委員会『食事に関するアンケート』結果

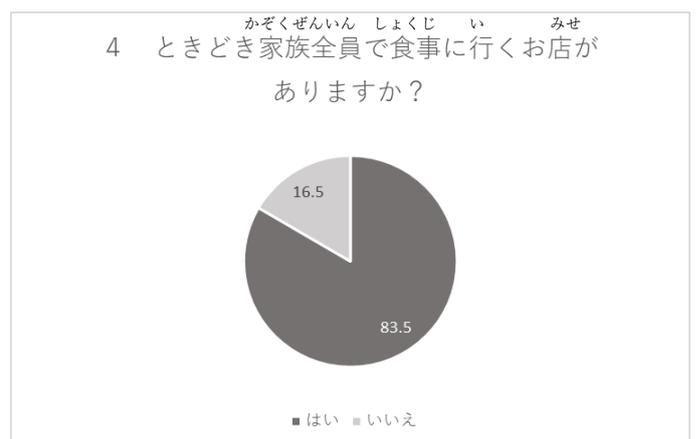
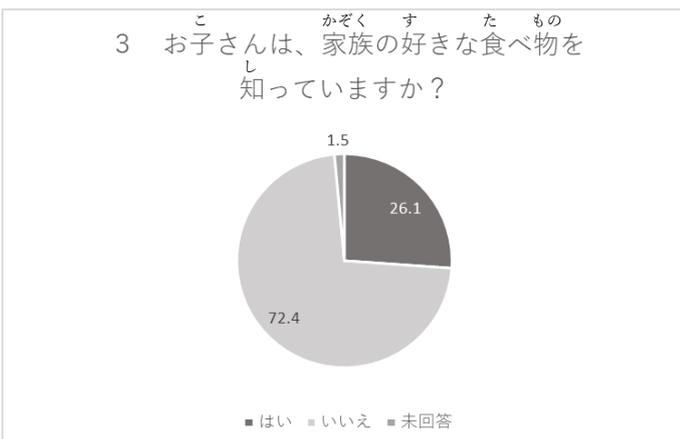
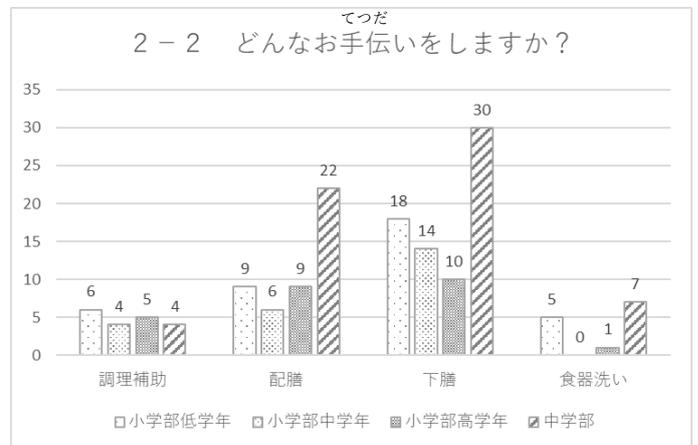
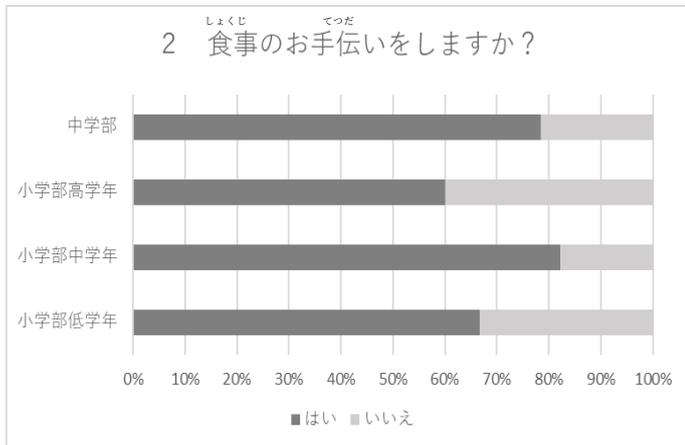
10/18(金)～10/24(木)に実施させていただいた「食事に関するアンケート」では、お忙しい所大変ご協力いただきまして、ありがとうございました。

アンケートの結果がまとまりましたのでご報告します。また、学校保健委員会で、ご講演いただいた言語聴覚士の峯岸幸弘先生がコメントしてくださいましたので、その内容も併せてお伝えします。

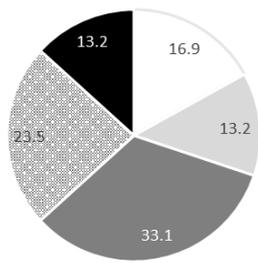


峯岸幸弘先生

中学部でも80%以上、小学部でも多くの子どもたちがお手伝いしている。とても素晴らしいです。できることは自分です、というのが食事の基本かなと思います。また、調理のお手伝い、というのは、「段取り」や「小さじいくつ」など学習面でもとても役に立つと思います。



4-2 がいしょく ひんど
 4-2 外食の頻度は？

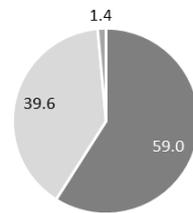


□行かない ■月に1回より少ない ■月1回 ■月2~3回 ■月4回以上

車椅子のお子さんですと、どうしても行きにくいこともあると思います。ですが、子どもも外で食事をするのは、楽しみの一つでもありますから、できればそんな機会を持てるといいかなと思います。1家庭だと行きにくい場合は、仲の良い保護者同士で2~3家庭で受け入れてもらえるようなレストランを作っておくと、子ども達の成長にもとても良いと思います。個人経営のレストランですと、ペースト食に対応してくれる所もあります。

やはり自分のお子さんなので、外で食事をしたるときには、気になるのは仕方ないと思います。ただ、食事はやはり楽しみの一つにしていかないといけないので、注意の内容は「注意すれば直せる」という程度のところがいいですね。注意するのはその学年では1つ2つに絞ってみる、そんな風にしていただければと思います。

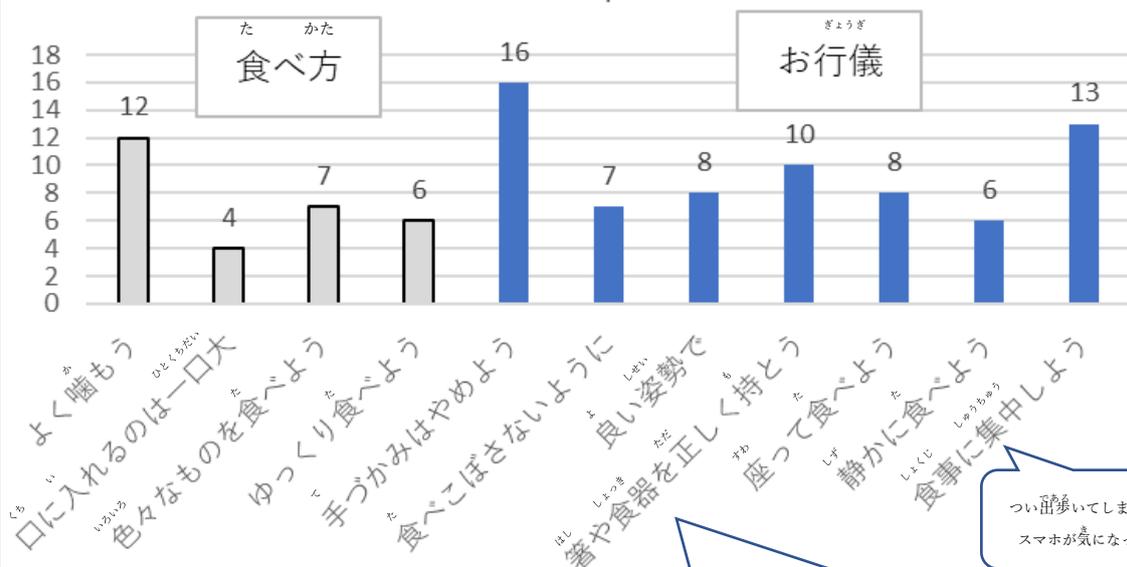
5 食事の時につつい口うるさく注意してしまいますか？



■はい ■いいえ ■未回答

5-2 5-2 どのようなことで注意しますか？

ベスト11



つい屈んでしまったり
 スマホが気になったり

一番多いのは「手づかみ食べをやめよう」で、続いて「食事に集中しよう」、「箸や食器を正しく持とう」などお行儀のことがあるようです。食べ方に関しては「よく噛もう」が一番多く、しっかり噛まずに丸のみしてしまうことを心配されているようです。